

町報

おゝねしめ

固定資産課税
台帳從覽期

(三月一日から二十日まで)
所有の土地や家屋の評価がどうなっているか、町役場税務課に備えつけの台帳は新年度の課税基礎となるものであります。

所得稅確定申告日

(本町分)
三月三日から四日まで
場所は町議会議事堂

助役に矢野氏

收入役山下氏を選任

第一回臨時町議会から

第一回臨時町議會は二月十一日招集されました。その結果は次のとおりであります。

て契約したものであります。なお、資金貸出等の関係については経済課におたづねください。

が収入役に選任されたもの。請願文書第一号、宿利原から笑喜間の道路改修に関する請願―建設委員会付託

議案第一号、国民金融公庫鹿児島支所との間の損失補償契約の締結について
議案第二号および議案第三号、鹿児島県町村職員退職手当組合設立に関することについて
議案第二号、命苦から真戸原に至る道路改良費の助成方請願
議案第三号、建設委員会付託

この議案は生産性の低い 議案第四号、危険校舎改
農業経営の改善を図るには 築事業費の起債の増額につ
現在及び将来において国民 いて―原案可決
の食糧消費の最も伸びる家 議案第五号、助役の選任
畜の生産を振興することが について―原案同意
請願文書第四号、昭和三十
十五年度農山漁村林野整備
請願―採択

目であり、そのために国民金融公庫においても資金の貸出をされることとなりましたので、

現収入役、矢野 清氏が	事業段中野林道新設に係る
助役に選任されたもの	地元負担金助成方について
議案第六号、収入役の選	建設委員会付託

任について原案同意

本町も壹千万円を限度とし 現税務課長、山下春二氏

本町は欠員中であつた助役として収入役の矢野清氏

町三役そろう

を助役に、
また後任収
入役として
税務課長の
山下春二氏
（馬場寺前
出身）を選
任し第一回
臨時町議会
において同
意を得まし
たので、こ
こに町三役
が出そろい
したわけで
あります。



矢野助役



坂元町長



山下收入役

旧軍人等の傷病恩給請求の時効についてお知らせ

昭和28年法律第155号附則第22条による傷病恩給中、下記に掲げるものは本年3月31日をもって時効を完成し権利を消滅することになりますので、時効により権利を失するもののないよう特にお知らせします。

- 1、昭和21年旧勅令第68号による傷病賜金を受けた者で昭和29年4月1日において旧7項症及び旧第1款症より旧第4款症の症状の程度にあるもの
- 2、昭和29年4月1日以前に給与期の満了した増加恩給受給者が再審査請求の結果6項症未到の理由により棄却されたもので昭和29年4月1日旧7項症及び旧第1款症から旧第4款症の症状の程度にあるもの

部落長改選期にあたって

町民みなさま、毎日ご苦
勞さまでございます。
私就任以来、みなさまの
深いご理解と心からのご協
力をバックとして、鋭意行
政の執行に努力いたしてお
ります。

部落の体制の確立は、私
の重点施策の一つでありま
すが丁度部落長の改選期に
あたりますので、
1、部落組織の整備強化
2、部落長及び部落役員の
選任等、その基本的問題に
ついてみなさまの理解ある
ご協力をえたいと存じます
申し上げるまでもなく、
部落の振興は町の発展に直
結するわけでありますが、
その部落の振興は一にかか
って部落長の選任にあると

協議事項

七、納税完逐の方策について

一、本町産業振興方策につ

には、

(イ) 経済自立化運動の推進
(ロ) 多頭飼育の奨励と畜産振興について
(ハ) 農業の協同化専門化と農協活動の強化
(ニ) モデル地区の設定

について
九、うらぼんの実施方針について
十、その他
以上盛り多くの議題が上程されましたが一日ではその

(二) よりよい品質のものを
(三) できるだけ多く生産して
(四) できるだけ高く売る工夫
をする必要があります
これが解結できなければ激しい競争に負けてしまひ所

など
(1)

(ホ) 営農指導の一
元化

効果を増す事が出来るが、当日の
来客が、町長以下主任級の
出会者、規模が小さいところでは個
人の力で解結する事は困難

(ハ) 小型農
までの町執行部と、議会側

推進の報告

運動

結 合 会 長 客

(ト) 技術員の駐在制度と併重去

経済自立化運動とは、県民並に町民の所得をふやし、生活を豊にする事を目的として、昭和二十七年からは運動がはじまつてから十年

生産技術の改善をはかる事を大きな目標とせねばならない。こうして経済自立化

自立化

回 部落

の改善
促進に
ついて
ため
す、
経済
の自
立を
達成
する
ため
には
、一
人一
人が
自ら
おこ
れて
おり
、ま
た生
活
も非
常に
底い
ので
あり
、全
国の
他

経済

才 2

競作会 農業、林業、漁業、商業、す。もつと生産も生活も
の部落 工業がより栄えるように努に順調に伸びて行くには
主権に 力しなければならぬ事は うすればよいか、農業は
つて 言ひまゐるが、あるまいし。 り角にきてゐると言われ

(イ)その他
二、部落統合計画の樹立と合併の促進
三、下水道の完備と上水道

そこで農業、漁村においては農山漁村の経済の自立をののか、と言う様な声も聞かれるようになった、そこ

四、役場庁舎の改築と公民館建設について

五、商工企業活動の振興と
工業振興策について
六、部落長の待遇改善と連
絡文書について

す、農林漁業の生産の目的は所得をふやすこと、言います。以下次号

促進にご協力願いたいと
会長 脇 秀 男

経済自立化運動の推進など

才 2 回 部落長会結果報告 (1)

存じます。

従つて私は、本年度末各地で行われる部落長改選に重大な関心を寄せて居る次第であります。

では、部落長の適任者とはどんな人か!!と申し上げますと

1、部落の事情に明るく、部落振興に熱情と抱負と意見をもっている人

2、職務に情熱をもち、任

す。

この点、本年度六〇名の部落長さん方は、誠意と情熱をこめて、献身的に働いてくださいまして、町発展に多大な成果を挙げることができました。

ここに厚くお礼申上げるとともに、これらの適任者を選出してくださいました町民みなさまに感謝申上げます。

務は最後までやりとげる つきましては、本年度も事情の許すかぎり留任していただき、折角もえ上った愛郷の熱情をさらに一年間部落振興のために注いでくださいますよう切望する次第であります。

5、地方自治に関心をもち、た人
等にいるいろいろあると思ひますが、要するに、
「誠意をもって、部落民一人一人の福祉に奉仕する実践力旺盛な人」を選
びたいと思ひます。

町長 坂元 左武郎

会長に今熊 洋（神川城）さん

町青協の総会ひらく

町青協では、このほど定例
総会を開き、
一、団員登録を実施して、
未加入者の加入促進をは
かる。

会長 今熊 洋（城）
副会長 牧原重実（笠原）
〃 馬込朝子（〃）
書記 中迫茂樹（上之宇都）
〃 笑喜京子（笑喜）

い	二、組織の実態調査をおこ	会計	赤石常雄（皆倉
か	ない、単位団活動を振興	監事	厚ケ瀬義晴 塩屋
で	する。	小園	又雄（神川
る	三、自主財政の確立をはか	厚ケ瀬	信夫（厚ケ瀬
る	ため、監査制度を強化	老崎	幹夫（老崎

劍のの存へ
し、町有林の下払いなど
による歳入の増加をはか
ることなどをきめた。
なお役員改選の結果は
次のとおりであります。



